

国は「辺野古埋め立て承認取り消し」に従え!

安倍政権を包囲し沖縄の人々に連帯して辺野古新基地建設を阻止しよう!

10月13日、翁長沖縄県知事は辺野古新基地建設にともなう大浦湾の埋め立て工事の承認取り消しを決定し発表した。翁長県知事の決断と覚悟をしっかりと受け止めると共に断固支持し、闘いを共に支え続けていこう。

安倍政権による恫喝の下で、仲井真前知事は権力保持・自己保身をはかるために、「もう基地はいらない」という沖縄県民の総意を踏みにじって辺野古新基地建設の為に大浦湾埋め立てを承認した。その決定を取り消したのである。仲井真前知事と沖縄自民党による裏切りは、米軍基地を押しつけられ、米軍基地が存在するが故に起こる事故や事件の犠牲性を背負わせられ続けてきた沖縄の人々の激しい憤りを呼び起こしてきた。その怒りは名護市長選に始まり、2014年沖縄県知事選、衆議院選と全ての選挙においてことごとく自民党候補者を敗北させてきた。決して新基地はつくれないと沖縄県民の覚悟を示し続けて来たのである。その民意を受けて翁長知事は仲井真前知事が行った埋め立て承認の決定を再検証し、法的にも瑕疵があることを確認し、決定を取り消したのである。

国が国へ不服申し立て・欺瞞審査を許してはならない。

ところが政府・防衛省は14日、この翁長知事の決定を不服として審査請求を国土交通大臣に申請したのである。国が県を相手に不服審査を請求し、国の別の一機関がそれを審査するというのである。この手法は今年3月、工事中断を求める沖縄県知事の「指示」に対して防衛省がその取り消しを求めて農水大臣に申し立て、農水大臣は沖縄県知事の「指示」取り消しを決定するという茶番劇を演じたのである。国の機関の相互間でやりとりする審査に客観性・公正さなど、全く存在しないのである。国は沖縄の人々の総意と翁長県知事の覚悟をしっかりと受け止め、辺野古への新基地建設を中止し、沖縄の基地負担の根本的要因である沖縄差別に基づく基地の集中を止めなければならないのである。

戦争法を強行成立させ、日米軍事同盟の下で戦争する国へ暴走を続ける安倍政権をいまこそ打倒することが求められている。沖縄では辺野古の海、キャンプシュワブのゲート前、高江で続けられている文字通り体を張った抗議行動に私たちがもしっかり連帯していかなくてはならない。東京でも防衛省や首相官邸前で沖縄出身の人々と共に抗議行動が連日取り組まれている。沖縄の闘いは本土での闘いを不可欠としている。全労協は全国各地でも闘う人々と連携し沖縄反基地闘争に全力で取り組んでいこう。

オスプレイ横田基地配備反対闘争へ

政府は戦争法を具体化するため周到に準備を進めている。自衛隊にオスプレイを導入することを決定し、また、オスプレイを横田基地に配備し、日米軍の共同運行、一体化を進めようとしている。決して許してはならない。10月25日(日)には横田基地包囲行動が取り組まれる。一人での多く参加しよう。

オスプレイの横田基地配備に反対する

10・25東京集会

日時：10月25日(日) 13:00

場所：福生多摩川中央公園(JR「牛浜」駅)

〒〒：多摩川中央公園→基地ゲート前→福生駅

国沖縄県から認められず承認取り消しを通知する

米軍普天間飛行場の移設計画をめぐり、翁長知事は13日午前、移設を定めた同意書に署名し、埋め立て承認を取り消した。移設計画は法的根拠を欠き、国は作業計画に反対し、抗議活動として、だだを行政不服審査請求と不正な承認請求を行う方針。移設計画をめぐり、国と県の関係は決定的な対立を迎えた。

△10月13日埋め立て反対派から県庁へ抗議行動が行われ、県庁前には多くの人が集まり、抗議活動が行われた。また、県庁前には多くの人が集まり、抗議活動が行われた。

△10月13日埋め立て反対派から県庁へ抗議行動が行われ、県庁前には多くの人が集まり、抗議活動が行われた。

△10月13日埋め立て反対派から県庁へ抗議行動が行われ、県庁前には多くの人が集まり、抗議活動が行われた。

△10月13日埋め立て反対派から県庁へ抗議行動が行われ、県庁前には多くの人が集まり、抗議活動が行われた。

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

明 仲井真前知事は「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

野古に新基地は建設しないという公約の破綻に向け、今方でも取り消しを求めたい」と述べた。

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

米軍普天間飛行場の移設計画をめぐり、翁長知事は13日午前、移設を定めた同意書に署名し、埋め立て承認を取り消した。移設計画は法的根拠を欠き、国は作業計画に反対し、抗議活動として、だだを行政不服審査請求と不正な承認請求を行う方針。移設計画をめぐり、国と県の関係は決定的な対立を迎えた。



翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

翁長知事 国へ不服審査請求

辺野古承認取り消し

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。

翁長知事は13日午前10時、県庁で記者会見し、「政府の決定は法的に根拠がなく、取り消しを求めたい」と述べた。